

ローマ帝国の建国

ローマの政治家カエサルは、独裁的な権力への野心を抱いた。この動きは、共和政の伝統を守ろうとする者たちによって阻止された。カエサルの死後、オクタウィアヌスが台頭し、ローマ皇帝となって政治・軍事の実権を握った。彼はカエサルと異なり、共和政の伝統を尊重した。

○地中海の平定

●内乱の1世紀

前1世紀、次の争いが続発し、ローマの混乱は頂点に達した。

- ①前1世紀初め、平民派のマリウスと閥族派のスラの争い
- ②前91～前88年、イタリア半島の同盟都市がローマ市民権を求めた反乱
- ③前73～前71年、剣闘士（剣奴）⁽¹⁾ _____ による反乱



前60年、内乱を通して台頭した次の3人が政治同盟を結び、政治を分担する⁽²⁾ _____ を始めた。

- ①⁽³⁾ _____
- ②⁽⁴⁾ _____
- ③⁽⁵⁾ _____

●カエサルの台頭と暗殺

⁽⁶⁾ _____ は、ガリア遠征に成功して権力の基盤を固めた後、政敵となったポンペイウスを倒して、前46年、全土を平定した。

→(6) は、独裁官⁽⁷⁾ _____ に続けて就任し、独裁権を握った。

⇒(6) は元老院を無視して王になる姿勢を見せたため、

前44年、元老院共和派の⁽⁸⁾ _____ らに暗殺された。

◇ガリア…現在のフランスにほぼ相当

◇『⁽⁹⁾ _____ 』…カエサルが自らのガリア遠征の記録を書いたもの



剣闘士（剣奴）

見世物として観客の前で戦った剣士のこと。剣闘士になった者には、奴隷や罪人、戦争捕虜、儲かる仕事として職業に選んだ者がいた。地位はローマの社会の中で最下層に位置づけられた。



カエサル

●内乱の収束

前43年、次の3人が政治同盟を結び、閥族派を抑えた。

- ①カエサルの部下⁽¹⁰⁾ _____
- ②カエサルの部下⁽¹¹⁾ _____
- ③カエサルの養子⁽¹²⁾ _____

⇒彼ら3人による政治の分担は、**第2回三頭政治**と呼ばれる。



前31年、⁽¹³⁾ _____

…(13) が、プトレマイオス朝エジプトの女王⁽¹⁴⁾ _____ と結んだ

(11) を撃破した海戦

…この戦いでプトレマイオス朝がローマの属州化



地中海が平定され、「内乱の1世紀」が終わった。



オクタウィアヌス



アクティウム

○ローマ帝国

●事実上の皇帝独裁

前27年、オクタウィアヌスは、元老院から⁽¹⁵⁾ _____ (尊厳者)の称号を与えられた。

⇒オクタウィアヌスは、実質的には皇帝となったが、共和制の制度を尊重するために、市民のなかの第一人者(プリンケプス)と自称した。

⇒このことからローマ帝国前半の政治体制を⁽¹⁶⁾ _____ (プリンキパトゥス)と呼ぶ。

◇第一人者…本来の意味は、元老院の議員リストの先頭に名前が記載されること



以降の約200年間を⁽¹⁷⁾ _____ (パクス=ローマーナ)と呼び、繁栄と平和が続いた。

●ローマの平和

最盛期の98～180年には、5人の名君が現れ、⁽¹⁸⁾ _____ 時代と呼ばれる。

- ①ネルウァ (在位 96～98)
- ②トラヤヌス (在位 98～117)
- ③ハドリアヌス (在位 117～138)
- ④アントニヌス=ピウス (在位 138～161)
- ⑤マルクス=アウレリウス=アントニヌス (在位 161～180)



五賢帝の1人⁽¹⁹⁾ _____ のときにローマの領土は最大になりました。

⇒ローマ風の都市が国境付近まで建設され、後にロンドン・パリなど近代都市になった。



トラヤヌス

●ローマ帝国の支配と活動

都市の上層市民は、ローマ市民権を与えられ、帝国支配に貢献しました。

⇒他方、属州の下層民は重税に苦しみました。

【全自由人の市民化】

212年の⁽²⁰⁾ _____ の時代、帝国の全自由人にローマ市民権が与えられた。

●帝国の瓦解

五賢帝最後の治世末期、ローマ帝国の行き詰まりが露わになった。

⇒3世紀末、軍人出身の皇帝の擁立・退位が頻発し、軍人皇帝の時代と呼ばれる。

⇒また、異民族が国境に侵入し、戦乱が止まなかった。

【農奴制の先駆】

軍人皇帝の時代には、奴隷の供給が途絶え、その労働力に頼ったラティフンディアが行き詰りました。

⇒大土地所有者は、没落した自由農民やかつての奴隷などで構成された小作人⁽²¹⁾ _____ を用いるようになった。

⇒この生産体制を⁽²²⁾ _____ と呼び、従来のラティフンディアにとってかわった。

◇コロヌス…移動の自由が認められず、この制度は西ヨーロッパ中世世界の農奴制の先駆形態